

Sight Flow S-OA Series

サイトフロー取扱説明書

注意

ご使用前に必ずこの取扱説明書をご覧の上、正しい使用方法でご愛用ください。
ご不明な点がございましたら、ご連絡ください。適切なアドバイスをさせていただきます。
お読みになった後は、必ずいつでも見られるところに保管してください。



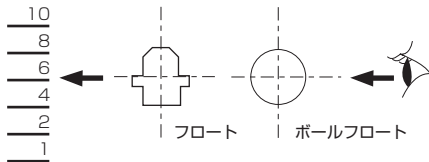
309-R02

東フロコーポレーション株式会社

東京営業所 〒191-0041 東京都日野市南平4-3-17 Tel.042-592-6111 Fax.042-592-6112
大阪営業所 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-20-14 東ロスター・ジョンビル915号室 Tel.06-4809-0411 Fax.06-4809-0412
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前5-8-5 K-2ビル2F Tel.092-482-2101 Fax.092-482-2102
仙台営業所 〒981-3132 仙台市泉区持監1-8-6 泉観光ビル102号 Tel.022-2118-2451 Fax.022-2118-2452
Overseas Dept. 3-17 Minamidaira, 4-chome Hino city, Tokyo 191-0041 Tel.042-592-6111 Fax.042-592-6112

URL <http://www.tofco.jp> E-mail: sales@tofco.jp

目盛に対する流量(目安)・ゲージ目盛のよみ方



保証期間と保証範囲

納入品の保証期間はお客様の指定場所(国内)に納入後1年間といたします。上記保証期間中に納入者側の責による故障が生じた場合は無償にて修理、または代替品をお出し致します。下記に該当する場合は保証の対象外といたします。

- ① 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
- ② 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- ③ 納入者以外の改造、分解、修理による場合。
- ④ 製品本来の使い方以外の使用による場合。
- ⑤ 天災、災害などで納入者側の責にあらざる場合。

尚、ここで言う保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただけます。

その他

1. 納入品の価格には技術者派遣などのサービス費用は含んでおりません。

下記の場合は別個に費用を申し受けます。

- ① 取り付け調整指導及び試運転立会い
- ② 調整及び修理
- ③ 技術指導及び技術教育

2. 本製品は改良、改善のため、予告なく変更することがあります。

※サイトフローシリーズの各製品は、製品自身の機能として災害防止や事故防止等の制御機能を有するものではありません。

これらの製品を使用した機器関係において、万一発生した災害や事故等による損害賠償等についての責任は負いかねますので、ご了承ください。

装置への組込要領

1. 器械装置への組込前に必ず製品をご確認ください。流量範囲、接続口径、スイッチ付き、またはスイッチ無しの確認、スイッチの電気仕様等。
2. 取り付けの際は、必ずフィッティングにスパナ掛けをしながら、締めこんでください。
3. この機種についての配管は、縦、横、斜め、いずれの方向でも結構です。(バネ機構の作用によって多少の取り付け角度がズレても、流量の読み取りを補正する必要はありません。)
4. 配管時、シール材等の異物を配管内に混入しないように注意して下さい。
5. 組込後の始動は、バルブは出来る限り徐々に開けてください。バルブを急激に開くと流体が乱流を起こし、振動で正常な動作をしないことがあります。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく、かつ効果的にご使用いただき、ご使用になるご担当者や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのもので、内容をよく理解しながらお読みください。

- 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをされると、機器が損傷したり、重大なケガや死亡につながる可能性があることを意味します。
- 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされると、機器が損傷したり、軽度、又は中程度のケガにつながる可能性があることを意味します。

警告 使用上の注意

1. 爆発性ガスの雰囲気中では絶対にご使用にならないでください。
2. 腐食性ガスの雰囲気中では絶対にご使用にならないでください。
3. サイトフローは防水、防湿構造ではありませんので、結露する場所や噴霧気中には設置しないでください。(湿度80%以下の場所でご使用ください。)
4. 周囲温度が0~50℃で、直射日光の当たらない場所に設置してください。
5. 電磁誘導障害の影響が無い場所でご使用ください。
6. 機械的振動の少ない場所でご使用ください。外部からの振動を受けるとサイトフロー内部がチャタリングを起こし、パーティクル(ゴミ)の発生の原因や故障の原因になります。

警告 その他、使用上の注意

1. サイトフロー本体及び可動部が汚染した場合は、必要に応じてクリーニングを行なってください。
2. 液体中に異物が混入しないようにして下さい。
3. 使用する液体の粘度が高すぎると、計測不能になる可能性があります。
4. サイトフローの管内は、常に流体で満たされた状態にしてご使用ください。
5. サイトフローに通水させる流体温度は、必ず規定範囲内でご使用ください。
6. 冬季に使用しないときは、水を抜いてください。
7. サイトフローシリーズは精密機器ですので、取扱には十分注意して下さい。落下衝撃や、製品の上に物を落下させますと液漏れの原因や破損等の不具合が発生する可能性があります。

警告 設計上の注意

1. サイトフローシリーズは液体を通水し計測するために設計されていますので固体や気体(エアバージを含む)は絶対に流さないで下さい。故障や破損の原因になります。
2. 定格の圧力内でご使用ください。
3. 最高使用温度範囲内でご使用ください。
4. サイトフローの管内は、常に流体で満たされた状態にしてご使用ください。
5. サイトフローシリーズは、工業計器としての用途にのみ使用し、その他の用途にはご使用にならないで下さい。

仕様

使用最高圧力	0.5MPa(G)
使用流体温度	Max50℃
使用環境温度	0~50℃(結露無き事)
接点方法	A接点 B接点
接点容量	DC0~24V Max0.2A
コードの長さ	50cm

警告 取り付け時の注意

1. サイトフローのうえに物を置いたり、足場として使用するのは故障、破損の原因となりますので絶対に行なわないで下さい。
2. サイトフローを液体に浸してのご使用はできません。
3. サイトフローの内部が凍結しないように注意願います。
4. サイトフローに配管する際には、流量計をスパナ等で固定してから配管作業を行なって下さい。
5. サイトフロー本体を改造しないで下さい。
6. サイトフロー本体を不安定な場所に置かないで下さい。落ちて損傷したり、怪我の原因となります。
7. サイトフローが重い場合、配管がたわまないように支持し、配管に生ずる応力がサイトフロー本体に伝わらないように確実に固定してください。
8. 配線作業は、必ず電源を切った状態で行なってください。
9. 電源入力は、定格を越えないよう、電源電圧をご確認ください。スイッチに過電流を流すとスイッチが動作しなくなります。
10. 端子台への配線には圧力や引張力が加わらないようにしてください。断線の原因になります。
11. サイトフロー本体からの接続線は、強電線(電源線、動力線、高圧線等)と同一束線、平行線、同一金属配線等にして下さい。同配線すると、ノイズ等が信号線に乗り、誤動作の原因となります。

分解及び組立要領

サイトフロー S-OA10シリーズの分解及び組立に関しては、作業台のような安定したところで行なってください。

S-OA10シリーズは、スイッチ無しとスイッチ付きの両タイプがあります。

◆スイッチ無し

1. 最初にIN側とOUT側のCリング(C形止め輪)を取り外してください。両サイドのCリングを外すと、両サイドのストッパーが外れます。
2. 次にフロートとスプリングを取り出して分解は終了です。

◆スイッチ付き

1. 最初に、スイッチプレートにマグネットスイッチが組み込まれた「※スイッチユニット」をサイトフロー本体から取り外してください。
※スイッチプレートに調整されたマグネットスイッチが組み込まれている状態を指して「スイッチユニット」と称します。
2. スwitchユニットの取り外しの後は、ガイドボールの取り出しを行なってください。
3. 2mmのボックスドライバーを2本用意し、一方はIN側の2mmのナットに当て、他方をOUT側のナットに当て反時計方向に回すと、どちらか一方の2mmのナットのネジが緩み、取外すことが出来ます。ガイドボールは、IN側から引抜いてください。その後両サイドのストッパーを取り出してください。
4. 次にフロートを取り出してください。フロートは、OUT側から取り出してください。以上で分解は終了です。

組立は、分解手順の逆を行ってください。